



桃組通信

令和3年11月25日

赤や黄色のカラフルな葉っぱが、秋から冬への季節の移り変わりを教えてくれているようです。子ども達は、園庭に落ちている葉っぱや木の実を集めては、ごちそう作ったり、松ぼっくり釣りや、オナモミの的あてなどを楽しんだりして、秋の遊びを満喫しています。

こんな遊びをします

先生や友達と一緒にふれあって遊ぶ

- ・異年齢児の真似をして、レストランごっこや、ごちそうを作って遊ぶ。

体を動かして遊ぶことに興味をもったり、楽しんだりする

- ・鬼ごっこやわらべうた遊びをして、先生や友達と一緒に走ったり、かけ合いを楽しんだりする。
- ・ボールを投げたり、受けたり、転がしたりすることを楽しむ。

生活に必要な活動を自分でしようとする

- ・先生に教えてもらいながら袖を出したり、ホックを止めたりして冬服の着脱をする。
- ・戸外から帰ったら、手洗い、手指消毒をする。

こんな歌を歌います

- ・おもちゃつき ・ゆき
- ・サンタクロース ・お正月

ビニール袋の補充を忘れずに！

遊びや給食などで衣服が汚れた時は、気持ちよく過ごす事ができるよう着替えています。汚れた衣服を入れるための**ビニール袋(必ず記名してください。)**を、**緑色の着替え袋に入れてください。**2~3枚入れていただくと、大変助かります。ご協力よろしくお願いします。

かけ紐の確認を！！

朝夕めっきり寒くなり、その日の気温や体調に応じて、ジャンパーなどの上着を着て登園する日もあるかと思えます。

ジャンパーなどの上着を、フックに掛けても落ちないように、かけ紐をつけてください。記名も忘れないようにしてください。

また、タイツやベスト、カーディガンなど着用する場合は、黒や灰色、白など、落ち着いた色の物をお願いします。



鼻水がでるときは

ふだんはある程度の鼻水があっても、鼻からあふれ出ることはありませんが、かぜのウイルスや細菌が入ってくると鼻の粘膜がはれ、いつも以上に液体を出します。透明の鼻水が出るとかぜのひき始めで、黄色い鼻水になると、ウイルスと戦っているということです。栄養や十分な睡眠をとって、元気な体で過ごせるようにしましょう。

鼻水は、すするより出すほうが良いそうです。鼻水が出たらティッシュペーパーでかみましょう。反対側の鼻を押さえて口から息を吸い、優しく片方ずつかみます。その後は必ず手を洗いましょう。間違ったやり方をしていると、鼻血が出たり耳が痛くなったりすることがあります。

正しい鼻のかみ方を、お家でも練習できるといいですね。また、はなかみは、いつでも使うことができるように、毎日ポケットに入れておいてください。



♪毎日、ハ/リ/です♪

大きさが様々などんぐりや、数珠玉、ベビー馬拉カスの種など、秋の木の実と、いろいろな空き容器を使って、馬拉カスづくりをしました。最初は、ヨーグルトの容器とどんぐりで、みんなで一緒につくりました。次は、様々な種類の容器や木の実を、自分で選んで、オリジナル馬拉カスをつくりました。音を鳴らしてみると、「こっちは、かわいい音!」「水の音みたい!」と、目を真ん丸にして、驚いたり感動したりする姿がみられました。

曲に合わせて、馬拉カスを使い分けて演奏したり、みんなで鳴らす楽しさを味わったりしながら、毎日楽しんでいきます。後日、持ち帰りますので、音色の違いに共感して頂けると嬉しいです。



鬼ごっこやろう!!

給食が終わると、「今日も鬼ごっこ、やろうよ〜」「やりたい!」と、遊びの相談が始まります。わくわくした表情で園庭に出ると、鬼になりたい子は、進んで帽子の色を変え、やる気満々です。「鬼がやりたい!」「逃げる人やりたい。」と、自分の気持ちを言葉にして伝える姿が、日増しに多くなり、鬼を決める時間は、とかく賑やかです。

「タッチされたくない。」と怒ったり、悔しがったりして涙が出る場面や、「さっきタッチしたよー!」と、友達に詰め寄る場面など、様々な様子が見られます。その都度、一人一人の思いを受け止めたり、友達と思いを伝え合うことができるようにしたりして、遊びを進めています。

「今日は、絶対につかまらないから〜」と、ニコニコ顔で軽快に走る桃組さんです。